

【別紙様式 3】

再評価実施事業調書

番号	3	事業名	道路事業		路線又は箇所名等		一般国道409号 茂原一宮道路		
事業所管課		道路整備課		事業主体		千葉県			
事業化年度	平成 12年度	用地着手年度	平成 13年度	工事着手年度 工事終了(認可)年度	平成14年度 令和9年度	再評価の理由	再々評価		
費用便益比 B/C	1.4 (5.5)	総費用	225億円 (36億円)	総便益	311億円 (197億円)	基準年	令和 4年度	供用開始 年度	令和 9年度

※上段：全体事業 下段（ ）：残事業

【事業概要】

一般国道409号茂原一宮道路を含む高規格道路「茂原・一宮・大原道路」は、「館山鴨川道路」や「鴨川大原道路」とともに、房総半島外房地域の観光拠点等の連絡性・周遊性を強化するため、さらには、観光・物流などの産業活動を支援する道路として、外房地域の骨格的な役割を果たす道路である。

一般国道409号茂原一宮道路は、圏央道の茂原長南ICと接続する長南町千田から茂原市三ヶ谷に至る約7.2kmを整備区間としている。平成25年の圏央道の開通にあわせ、一般国道409号の千田交差点から茂原長南ICまで約0.7km、令和2年に茂原長南ICから長南町坂本の町道利根里線まで約1.5kmの供用を開始しており、現在、残る区間の整備を進めているところである。

- ・総事業費：173.2億円
- ・事業延長：L=7.2km

【事業の進捗状況】（令和4年度末見込み）

	全体計画(億円)	投資事業費(億円)	残事業費(億円)	進捗率(%)
全体	173	140	33	81

【社会経済情勢等】

- ・一般国道128号や一般国道409号現道では混雑度が1.25を超えており、旅行速度も県平均(28.9km/h)を下回る区間がある。また、現道の上茂原交差点や(仮称)昭和橋北交差点が主要渋滞箇所に特定されている。
- ・現道の死傷事故率は49.1件/億台キロであり、県平均の43.1件/億台キロを上回っている。また、当該区間の事故類型をみると追突事項の割合が約6割を占め、渋滞発生要因の一つとなっている。

【対応方針(案)】

継続

一般国道409号茂原一宮道路の費用便益比(B/C)は事業全体で1.4、残事業費で5.5あることから、費用対効果が見込まれる。

整備効果として、救急医療活動の支援の強化、緊急輸送道路ネットワークの強化、地域防災機能の強化のほか、交通の転換による渋滞緩和及び走行時間短縮、交通事故の減少などが期待される。

事業を継続し、効果の早期発現を目指す。

【別紙様式 4】

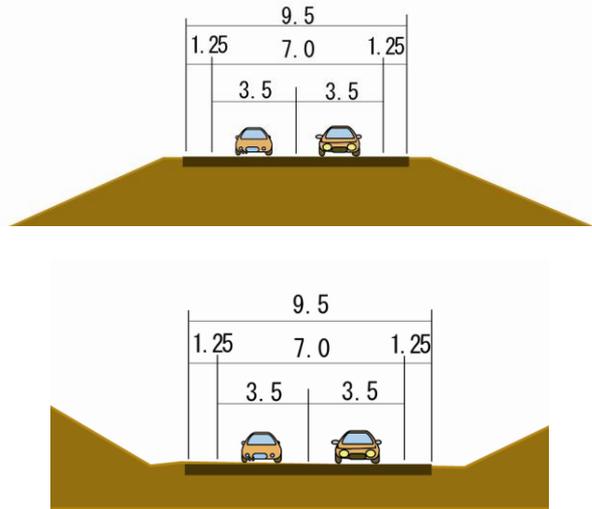
事業概要図

番号	3	事業名	国道道路改築	路線又は箇所名等	一般国道409号 茂原一宮道路
----	---	-----	--------	----------	--------------------

位置図



標準横断面



平面図



- 凡例
- : 整備区間(供用済)
 - : 整備区間(事業中)
 - : 調査区間
 - : 一般国道
 - : 主要地方道
 - : 一般県道
 - : 高速道路

【別紙様式5】

再々評価事業に関する調書

番 号	3	事 業 名	国道道路改築事業	路線又は箇所名等	一般国道409号 茂原一宮道路
事業化年度	平成12年度	用地着手年度	平成13年度	工事着手年度	平成14年度

【再評価の概要】

再評価実施年度 (基準年)	令和元年度	供用開始年度	令和9年度	対応方針	継続
B/C	1.4 (5.6)	総費用	182億円 (44億円)	総便益	261億円 (245億円)

※上段：全体事業 下段（ ）：残事業

再々評価時の委員会の意見及び当時の状況

- ・継続することが妥当である。

再々評価時の進捗状況及び再評価時想定の5年後の進捗状況

	計 画	進捗状況(R01 未見込み)	5年後の想定進捗状況
全体事業費	152億円	104億円 (68%)	148億円 (97%)
用地取得面積	346,655㎡	280,791㎡ (81%)	317,520㎡ (92%)
供用面積(延長)	7.2km	—	—

【再々評価 (R04 年度) の概要】

再評価実施年度 (基準年)	令和4年度	供用開始年度	令和9年度	対応方針	継続
B/C	1.4 (5.5)	総費用	225億円 (36億円)	総便益	311億円 (197億円)

※上段：全体事業 下段（ ）：残事業

現在の進捗状況

	計 画	進捗状況(令和4年度末)
全体事業費	173.2億円	140.3億円 (81%)
用地取得面積	346,655㎡	300,090㎡ (87%)
供用面積(延長)	7.2km	—

再評価後の経過
及び
処理状況

- ・令和4年度会 再々評価（継続が妥当である）
- ・引き続き、事業の早期完了を目指す